

会議議事録

会議名	令和3年度第1回 東京工科自動車大学校三校 教育課程編成委員会	専門学校 東京工科自動車大学校 専門学校 東京工科自動車大学校世田谷校 専門学校 東京工科自動車大学校品川校
開催日時	令和3年6月4日（金） 15:00 ～ 17:00	
会場	東京テクニカルカレッジ 11階教室	
参加者	委員	19名 【出席者17名】 ◇1 級教育課程分科会 ・佐藤 康夫（全体会議長、1 級分科会議長） ・佐々木 章 ・酒井 彦樹・伏見 一洋・宮谷 真樹・増田 智秀・保田 正義 ・園田 幸祐・浅井 恵一・井上 真一（書記） ◇2 級教育課程分科会 ・松村 道隆（2 級分科会議長） ・武井 和則 ・国分 秀貴 ・永野 英臣 ・清 宏一郎 ・高橋 輝彦 ・開田 実（書記） 【欠席者2名】 ・油井 文江 ・坂本 康将
	事務局	1名 澁谷 健（全体会書記）
全体会 配布資料	————— 全体会 —————	
報告事項	<p><配布資料></p> <ul style="list-style-type: none"> ・議事次第 ・資料A・・・全体会説明資料（パワーポイント） ・資料B・・・令和2年度自己評価結果・学校関係者委員評価書 ・資料C・・・委員名簿 ・資料D・・・前回議事録 <p>1. 委員長挨拶 委員長より挨拶として下記の説明・報告がなされた</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業実践専門課程関連報告 →職業実践専門課程、自己評価報告及び学校関係者評価の概要説明(資料 A・B) ・教育成果等実績の報告(資料A) →就職・整備士資格・学生募集数値の説明 <p>2. 中野校の取り組み紹介 佐々木副委員長より、中野校で取り組んでいる文部科学省委託事業「ARを活用した自動車整備の講習・実習のコンテンツ開発事業」の紹介がなされた(資料A)</p> <p>3. 委員の紹介 ・事務局より本年度委員の紹介を行なった(資料C)</p>	

協議事項	<p>4. 議事</p> <p>4-1. 前回議事録の確認</p> <p>・事務局より令和2年度第2回教育課程編成委員会の議事録(資料D)について、改めてその概要についての確認がなされた。</p> <p>4-2分科会 議長・書記の選出 出席者の確認</p> <p>事務局提案により</p> <p>・1級課程分科会 議長:佐藤委員長、書記:井上委員</p> <p>・2級課程分科会 議長:松村委員、書記:開田委員</p> <p>→全員一致で承認</p> <p>以上をもって、全体会を散会とし、分科会に移行した</p>
1級分科会 配付資料	<p style="text-align: center;">————— 1級教育課程分科会 —————</p> <p>配付資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ● インターンシップカリキュラム内容 ● インターンシップ評価書 ● 自動車整備士養成施設の指定等の基準(抜粋)
協議事項	<p>1. インターンシップ企業実習の目標と評価について(インターンシップ企業実習コマシラバスの可視化)</p> <p>議長よりテーマの説明、今年度はインターンシップカリキュラムについて、1級教育課程分科会審議をしていくことについて説明があった。</p> <p>2. インターンシップカリキュラムについての意見交換</p> <p>・園田委員より、インターンシップカリキュラム担当者として、実施企業によって個人差が発生している。特に作業内容が企業によって異なっている。カリキュラム内容を企業に提示をしているが、業務に支障がないよう、無理の無い範囲でインターンシップをお願いしている。一種養成施設の基準にある、体験実習の教育時間は200時間であり、正味28日間以上が必要である。カリキュラム内容について、各企業様のご意見を頂きたい。</p> <p>各委員よりの意見</p> <p>→(学外委員)学生として経験して欲しい内容としては、問題ない。受け入れ側として、カバーできない項目が存在している。</p> <p>→(園田委員)国交省からは、自動車整備としか提示がない。企業(店舗)によってカリキュラムパターンが必要ではないかと感じている。</p> <p>→(議長)1級課程を作る際に、最高位の整備士教育には実務経験なしとは出来ないという考えから、インターンシップが決められた。最初は1年間という声もあったが200時間と決められた。国からは、カリキュラム内容の提示はなかった。学校協会(JAMCA)として会員校からの不安の声に対し、カリキュラム内容を作成した。カリキュラムはインターンシップ経験により学生に身に着けてほしいスキル内容について期待値として整理された。実際は、受け入れ企業の業態によって実践できるものが限られるため、内容が異なる現状がある。</p> <p>→(学外委員)このカリキュラム内容は初めて見た。内容は受け入れ側としてハードルが高い。現在の実施内容について、店舗の見直しが必要であると感じている。</p> <p>→(学外委員)本社オリエンテーションを実施し、入社後のイメージを持ってもらう。また、事前課題(アンケートのようなもの)を設定している。それを利用し、リーダーに説明をし、実施内容を決めている。工具ではないので、作業を実施させてはいけないと思っている場合がある。終了後、振り返りを実施している。</p> <p>→(学外委員)店舗として実施していない内容が沢山ある。昨年5名受け入れたが、アンケート結果によると希望作業内容が実施できていると感じている。その他、本部でない出来ない内容があると感じる。</p> <p>→(学外委員)現場には、具体的に内容と深度がわからないので明記して欲しい。現場としては、その方が解りやすい。</p> <p>→(学外委員)カリキュラム内容は細やかな内容である。ユーザー目線としては、メカニックのレベルが上がっていると感じている。それは各社の教育の成果である。今後も踏まえて、高電圧系内容の実施も盛り込んだらどうかと思う。</p> <p>→(学外委員)学ばせて欲しい内容を明示していれば、それを学ぶ事が出来るよう店舗に指示を出すこともできる。</p> <p>→(園田委員)企業によって、独自のカリキュラムを提示してくれている企業もある。</p>

	<p>→(議長)入社前教育として普段のルーチンワークを教えてもらい経験する。プラス1級整備士として学ばせてもらいたい教育も必要である。それらを踏まえて内容を整理する必要がある。今年度の議事は、インターンシップについて検討を進めるが、今年度のインターンシップは始まっているので、来年度に反映してゆきたい。次回は変更案を示したいと思う。</p> <p>→(副議長)インターンシップ企業内実習の意見を聞き、見える化としていき、現場と学校のギャップを埋めていきたい。次回検討していく。</p> <p>➢議長より次回の分科会は、10/12(火)に実施する旨を確認し、以上をもって閉会とした。</p>
2級分科会 配付資料	<p style="text-align: center;">————— 2級教育課程分科会 —————</p> <p>配付資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2級課程分科会議事案 ● 2021年度中野自動車整備科 科目配置 ● 2021年度中野自動車整備科 シラバス(2年間分)
協議事項	<p>議案:</p> <p>1. 現在の2級課程75科目中、不必要な科目についての意見聴取 (第1回分科会メイン)</p> <p>2. 今後の2級課程で、必要となる科目(内容)についての意見聴取(第2回分科会メイン)</p> <p>●議長より上記の議案を本年度の議題としたい趣旨説明がなされた。</p> <p>➢前年度議題であった「早期離職問題」については、重要であり、今後も引き続き意見を頂くとしたい。現況の問題として10年程度2級課程の科目が大きな変更がなされていない。また、教員も授業に追われていて、「新技術等の技能・知識」を得る時間がないのが現状である。次年度カリキュラムより、先に中野校を主としてカリキュラム変更を行いつつも授業時間の削減をし、教職員へのFDへの時間を確保したい。</p> <p>⇒全員、上記議案を議題として本年度は進行することに賛同。</p> <p>●議題の配布資料として、議長より以下の説明が行われた。</p> <p>①「科目配置」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年5期生、2年5期生での科目名とコマ数(1コマ/90分)記載 ・2年5期は2級対策としての科目名である。 ・卒業には学科科目336コマ、実習科目669コマ 計1,005コマ必要 ・現在は1160コマ 10%強のバッファを設けている。 ・不必要と思われる科目は、赤字で囲っている科目である。各教員との評議で記載。 <p>②「シラバス」について 科目配置に記載してある全科目のシラバス(授業概要)を記載。</p> <p>③不必要と思われる科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自動車製図」2D CADを使用した製図の授業 ・「自動車化学」乙種第4類の科目、試験を外部任意で受験しているので、必修科目として入れる必要がない。 ・「ディーゼル燃料噴射ポンプの整備」現在はコンレールが大半である。 ・「オートマチックトランスミッションの整備」学科で構造を補っている。作業は非分解 ・「アーク溶接」「グラインダ取り扱い作業」必修でなくても良い。就職時に必要な者は外部の講義を検討。 <p>1. 現在の2級課程75科目中、不必要な科目についての各委員意見聴取</p> <p>➢科目削減計画及び方針に各々委員に意見を求めた。</p> <p>→方向性は問題ないと思う。危険物の科目「自動車化学」に関しては、選択でもよいと思われる。昔からそうであった。大型車整備に関しては、溶接・工作の科目は必要である。「ディーゼルの噴射ポンプ」に関しては、地方や留学生が母国で就職する際には、必要であると思われる。</p> <p>→「グラインダ—の取り扱い」は、実施していただきたい。使用する場面もあり、労災の問題も</p>

<p>会議風景</p>	<p>多いので、安全面を重視してほしい。 →「オートマチックトランスミッションの整備」は、リビルト交換の為、必要ないが「中身の分解」は学校でしかチャンスがないのも事実。 ・「パワステアリングの整備」も油圧式の分解となっているが、最近ではEPSなので分解は必要と思われるか？ → 大型は大半が油圧である。(実際に交換はリビルトとなる) ・クラッチO/H実習に関しては、必要あると思われますか？ →現在従事している外国車ディーラー(店舗)には、クラッチOHや溶接機器等はないので問題はない。 →大型は大半がクラッチであるため、必要と考える。 →学校としては、分解して機構を身につけることも大切だが、シミュレータなどを使用して学校で構造・作動を理解させる工夫も可能と思われる。 →PCの科目を厚くしていただきたい。メカニックが作業伝票・報告書等で必要となるケースがある。 →入社後重要なのは、安全作業(労災に関わってくる)である。どのような作業でも、どうすれば安全に実施できるかを自ら考えられるメカニックを育てることが重要だと思われる。 ⇒ 貴重な意見を頂きました。学内に持ち帰り、いただいた意見を再確認しながらカリキュラム編成を再検討したいと思います。次回委員会までには今年度の削除項目を決定し披露致します。また2022年度の課題となりますが、新たな科目新設として「特定整備」など、今後の2級課程で、必要となる科目(内容)についての意見を頂きたくよろしくお願いいたします。 以上をもって散会となる。</p>
	<p>【全体会】</p>  <p>【1級課程分科会】</p>  <p>【2級課程分科会】</p> 
<p>事務局より 次回日程</p>	<p>令和3年10月12日(火) 15:00～17:00</p>

以上